

提案④：改正バリアフリー法に基づき、つくば市のマスタープラン・基本構想を作成する

自由記入欄：

自助・共助・公助の順で考慮し、その実現を目指します。インフラ整備については、それなりの予算と時間が必要となります。北欧の視察に行った方のお話で、道や建物が古いところも多くバリアフリーとなっていないがまわりの人(お店の人や、お客さん、通行者等)が当たり前のこととして必要なことをお手伝いしていると聞いたことがあります。お腹に赤ちゃんがいる妊婦さんが「赤ちゃんがいます」シールやキーホルダーでまわりに知らせる方法がありますが、「今ヘルプが必要」ということを知らせるグッズやアイテム(たとえば「ヘルプ旗」のようなもの)を企画開発して、同時に認知度を高めたり市民の意識の啓発にマスコミへの働きかけを行うことで、皆が住みよい環境になるのではと考えます。